

★一般投影

今夜の星の探し方から、その時々天文現象、天文や宇宙の様々な話題等を、月替わりで取り上げます。一般の方向けに、専門の学芸員が生で解説します。

2026

3月『こいぬ座物語』～4/7

古代から人々は星空を見上げてあれこれ空想をふくらませ、さまざまな物語を作ってきました。凍てついた冬の夜空に、ちょっとさみしそうに輝く、こいぬ座の物語を紹介します。

4月『宇宙は銀河でできている』4/8～5/8

私たちは数千億もの星が集まった天の川銀河の中にいます。宇宙には星の大集団、銀河がさらにたくさんあると考えられています。そして大規模な観測から3次元的な分布が分かっています。

5月『一番星・二番星』5/9～6/11

この頃の夕暮れ時、西の空で圧倒的な存在感で輝く星が2つあります。一番明るいのが金星、もう一つが木星です。一番星と二番星の位置関係は日に日に変わり、6月9日に見かけ上最も近づきます。

6月『小惑星をめぐる』6/12～7/17

小惑星リュウグウのサンプルを地球に無事届け終えた「はやぶさ2」は、その後もミッションを続けています。7月5日には小惑星トリフネの近くを猛スピードですり抜けながら観測を行う予定です。

7月・8月『宇宙エレベーター』7/18～9/9

ロケット以外に宇宙に行く方法はあるのでしょうか？地上施設と静止軌道上の「駅」をケーブルでつなぎ、それをつたって宇宙と地上を行き来する「宇宙エレベーター」が検討されています。

9月『お月見は満月？』9/10～9/30

今年のお月見「中秋の名月」は9月25日です。ほとんど丸い月が昇ってきますが、満月は9月27日。実はお月見の日は満月とは限りません。暦とお月見の関係をお話します。



10月『アンドロメダ物語』10/1～10/30

秋の夜長、きつと昔の人たちも夜空をのんびり眺めていたことでしょう。アンドロメダ座、ペルセウス座、カシオペア座、くじら座など、この季節の星座たちにはひとつの壮大な物語があります。

11月『日本の天文台～公開天文台100周年～』

10/31～11/23

一般の方に天体観望の場を提供する公開天文台の歴史は1926年10月、倉敷天文台から始まりました。その100周年を記念しつつ、日本が世界各地に建設した天文台とその星空を巡りましょう。

12月『クリスマスの星空』11/25～12/25

クリスマスツリーの頂上に飾られる星は「ベツレヘムの星」と呼ばれ、キリスト誕生の地に3人の星博士を導いたとされます。実際はどのような天文現象だったのでしょうか。

2027

1月『オリオン大星雲』12/26～1/29

オリオン座中央の三つ星の少し下、狩人オリオンが腰にさげた剣のあたりでぼやっと輝くのがオリオン大星雲です。星の材料となる水素ガスが豊富で、ここでは今まさに新しい星ができています。

2月『火星と衛星』1/30～3/5

太陽を周りながら、約2年2ヶ月ごとに接近する地球と火星。そのタイミングを狙って、火星探査機が打ち上げられました。2月下旬に最接近する火星とその衛星を見てみましょう。

3月『オーロラウォッチング』3/6～

極夜の夜空を彩るオーロラは、太陽活動と地球の磁気圏が織りなすすばらしい現象です。国内からその一端が見えることも。プラネタリウムの空にオーロラを再現しつつ、そのしくみを解説します。

★夜間投影(18:30～19:30)

— 申込制 —

夜6時半からの大人限定の投影です。七夕やお月見など、その時々になんだ天文の話題を取り上げます。各回のテーマをご確認の上、お申し込みください。料金等は当館ウェブサイトをご覧ください。

夜間投影



人数：350人 * 11月21日のみ250人
対象：高校生以上限定です。中学生以下は乳幼児を含めて入場できません。

申込：① 往復はがき
催し名、開催日、代表者の住所・氏名・電話番号、参加人数(5名まで)、返信あて名を記入して、F U J I なごや科学館「O月△日の夜間投影」係までお申し込みください。

② インターネット申し込み
名古屋市電子申請サービスより「キーワード検索」にて「夜間投影」と入力してください。

<https://ttzk.graffer.jp/city-nagoya>

申し込み



☆応募者多数の場合は抽選になります。

「夜間投影のテーマ」

開催日 受付開始日～ 申込締切日(必着)

「国際宇宙ステーションの夜」

6月 6日(土) 4/21～ 5月12日(火)

「七夕の夜」

7月 7日(火) 5/19～ 6月 9日(火)

「旧暦七夕の夜」

8月 19日(水) 7/1～ 7月22日(水)

「お月見の夜」

9月 25日(金) 8/11～ 9月 1日(火)

「公開天文台100周年」*

11月 21日(土) 10/6～ 10月27日(火)

「クリスマスの夜」

12月 24日(木) 11/4～ 11月25日(水)
12月 25日(金) 11/4～ 11月25日(水)

「星空のオルゴール」

2月 6日(土) 12/23～ 1月13日(水)

★ファミリーアワー

幼児から小学校低学年のお子さま連れのご家族にも安心して楽しんでいただける、遊び心あふれるプログラムです。今晚の星空はもちろん、宇宙旅行や冒険にもでかけます。初めてプラネタリウムをご覧になるという方にもおすすめです。

日時によっては、子ども会などでの団体予約も可能です。詳しくは当館ウェブサイト内「団体のお客様へ」をご覧ください。

～ 8/ 6 『わくわく！うちゅう旅行』
8/ 7～ 1/ 6 『太陽系アドベンチャー』
1/ 9～ 『びっくり！火星たんけん』

★その他

その他に、市内や近郊を中心とした、幼児、小4、小6、中学生団体むけの学習投影、字幕付きプラネタリウムなど、様々な投影がございます。詳しくは当館ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.ncsm.city.nagoya.jp/>

★投影基本パターン

(投影時間は約 50 分間です)

	10:00	11:20	12:40	14:00	15:20	16:40
日曜日・祝日	一般	ファミリーアワー	一般	ファミリーアワー	一般	一般
土曜日	一般	一般	一般	ファミリーアワー	一般	一般
平日	学習 一般	学習 一般	学習 一般	一般	一般	一般

- ★学校の長期休業日等はスケジュールが異なります。
- ★都合により内容変更や休演の場合があります。
- ★詳細は当館ウェブサイトの「投影スケジュール」をご確認ください。

投影スケジュール



★インフォメーション

2026.4 ~ 2027.3

観覧券の購入方法

① オンライン販売

プラネタリウムを含む観覧券を日時・座席指定で事前にご購入いただけます。オンライン販売分が「残席なし」でも、当日販売分がある場合があります。

② 窓口販売

観覧当日、エントランスホールの窓口でご購入ください。

詳しくはこちら ▶



展示室観覧時間

午前9時 30分～午後5時
(入館は午後4時 30分まで)

休館日

毎週月曜日(祝日の場合は直後の平日)
毎月第3金曜日(祝日の場合は別日)
年末年始(12/29～1/3)

※上記以外の休館日やプラネタリウムの休演につきましては、当館ウェブサイトをご確認ください。

天体観望会のお知らせ

★市民観望会★ <夜間・事前申し込み制>

プラネタリウムでの講座の後、天文台と「星のひろば」でその時々の見ごろの天体をご覧いただけます。

★昼間の星をみる会★ <入館者対象・自由参加>

望遠鏡を使うと昼間でも星が見られます。80cm大望遠鏡で青空の中の星をお楽しみください。

開催日などの詳しい情報はこちら ▶



〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番1号
(芸術と科学の杜・白川公園内)

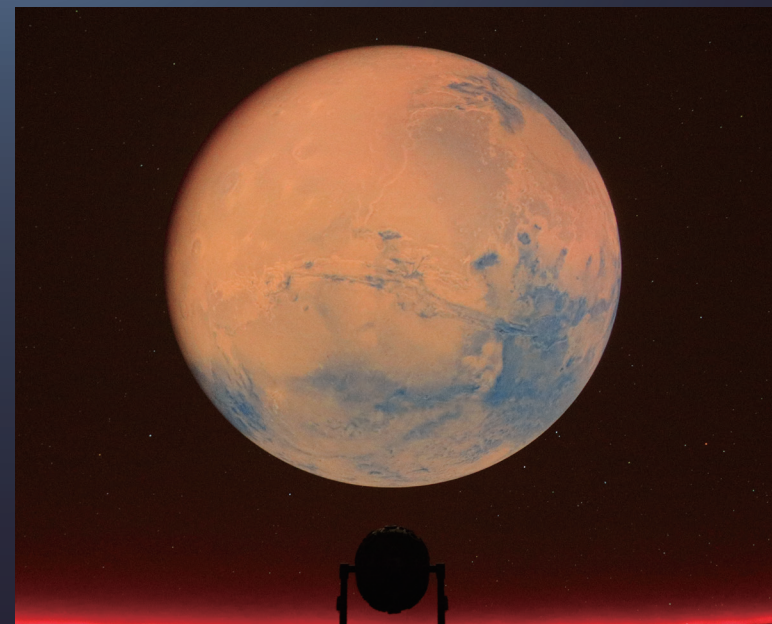
TEL: 052-201-4486 FAX: 052-203-0788

TEL: 052-231-9771 (団体専用)

<https://www.ncsm.city.nagoya.jp/>



FUJII なごや科学館 プラネタリウム 年間ガイド



光学式プラネタリウムによる限りなく本物に近い星空。デジタルプラネタリウムによる迫力ある宇宙体験。天文現象や最新研究データの可視化。そして専門学芸員による生解説をお楽しみください。

2026.4 ~ 2027.3

世界最大級 35m 水平ドーム 350 席のリクライニング&回転シート

